

平成28年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	福井県		市町村類型	II-2		指定団体等の指定状況		区分		区分		平成28年度(千円・%)	平成27年度(千円・%)										
								歳入総額	平成28年度(千円)	区分	平成28年度(千円・%)												
市町村名	越前市		地方交付税種地	1-3		財政健全化等	×	歳入総額	37,464,167	39,588,315	実質収支比率	6.9	6.1										
								歳出総額	35,958,462	38,191,438	経常収支比率	89.8	87.2										
								歳入歳出差引	1,505,705	1,396,877	(※1)	(95.3)	(94.3)										
								翌年度に繰越すべき財源	138,277	184,221	標準財政規模	19,914,386	19,931,179										
人口	27年国調(人) 81,524 22年国調(人) 85,614 増減率(%) -4.8		産業構造(※5)	近畿	○	中部	×	実質収支	1,367,428	1,212,656	財政力指数	0.72	0.71										
								単年度収支	154,772	55,547	公債費負担比率	16.3	15.4										
								積立金	929,644	672,946	健全化判断比率												
								山振	1,875	6,382	実質赤字比率	-	-										
住民基本台帳人口(※7)	29.01.01(人) 82,947 うち日本人(人) 79,803 28.01.01(人) 83,735 うち日本人(人) 80,478 増減率(%) -0.9 うち日本人(%) -0.8		区分	27年国調	22年国調	低開発	×	積立金取崩し額	1,320,267	668,000	連結実質赤字比率	-	-										
								実質単年度収支	-233,976	66,875	実質公債費比率	10.4	10.4										
								基準財政収入額	11,438,831	10,405,254	将来負担比率	90.7	87.9										
								基準財政需要額	15,235,348	14,936,308	資金不足比率(※4)												
								標準税収入額等	14,637,881	13,251,386													
								経常経費充当一般財源等	17,682,301	19,001,289													
面積(km ²)	230.70		第3次	22.259	22.267	歳入一般財源等	24,626,545	25,615,956															
人口密度(人/km ²)	353			54.5	53.7																		
世帯数(世帯)	27,889																						
職員の状況																							
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	42,894,912	42,664,483												
	市区町村長	1	9,070		一般職員	510	1,637,610	3,211	うち公的資金	13,377,041	13,606,609												
	副市区町村長	1	7,600		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	4,673,160	5,113,646												
	教育長	1	6,420		うち技能労務職員	54	162,432	3,008	収益事業収入	2,000	7,000												
	議会議長	1	4,650		教育公務員	11	40,436	3,676	土地開発基金現在高	479,417	478,886												
	議会副議長	1	4,070		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	2,705,572	3,096,195												
	議会議員	20	3,870		合計	521	1,678,046	3,221	減債基金	14,432	14,410												
					ラスバイレス指数				99.6	財政調整基金	4,128,743	4,990,814											
										その他特定目的基金													
	一般会計等の一覧																						
項番	会計名	事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧													
(1) 一般会計		(2) 国民健康保険	(3) 介護保険	(4) 後期高齢者医療	(5) 水道事業	(6) 工業用水道事業	(7) 下水道事業	(8) 農業集落排水事業	(9) 林業集落排水事業	(10) 福井県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(11) 福井県後期高齢者医療広域連合(特別会計)	(12) 福井県市町総合事務組合(一般会計)	(13) 福井県市町総合事務組合(特別会計)	(14) 福井県自治会館組合	(15) 公立丹南病院組合	(16) 南越消防組合	(17) 南越清掃組合	(18) 福井県丹南広域組合	(19) 越前三国競艇企業団	(20) タケフ都市開発	(21) 丹南ケーブルテレビ株	(22) 武生駅北パークینگ株	(23) 越前市文化振興・施設管理事業団

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7：住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	13,021,901	34.8	12,366,886	66.6	普通税	12,341,759	94.8	453,818	
地方譲与税	308,574	0.8	308,574	1.7	法定普通税	12,341,759	94.8	453,818	
利子割交付金	14,308	0.0	14,308	0.1	市町村民税	6,398,435	49.1	453,818	
配当割交付金	40,541	0.1	40,541	0.2	個人均等割	152,160	1.2	-	
株式等譲渡所得割交付金	24,374	0.1	24,374	0.1	所得割	3,911,072	30.0	-	
地方消費税交付金	1,519,298	4.1	1,519,298	8.2	法人均等割	265,615	2.0	43,827	
ゴルフ場利用税交付金	12,291	0.0	12,291	0.1	法人税割	2,069,588	15.9	409,991	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	5,209,101	40.0	-	
自動車取得税交付金	69,553	0.2	69,553	0.4	うち純固定資産税	5,197,455	39.9	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	222,722	1.7	-	
地方特例交付金	34,746	0.1	34,746	0.2	市町村たばこ税	511,501	3.9	-	
地方交付税	5,337,743	14.2	4,154,733	22.4	釧産税	-	-	-	
普通交付税	4,154,733	11.1	4,154,733	22.4	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	1,183,010	3.2	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	-	-	-	-	目的税	680,142	5.2	-	
(一般財源計)	20,383,329	54.4	18,545,304	99.9	法定目的税	680,142	5.2	-	
交通安全対策特別交付金	9,933	0.0	9,933	0.1	入湯税	25,127	0.2	-	
分担金・負担金	363,956	1.0	-	-	事業所税	-	-	-	
使用料	478,574	1.3	-	-	都市計画税	655,015	5.0	-	
手数料	48,364	0.1	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	4,567,404	12.2	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	2,794,380	7.5	-	-	合計	13,021,901	100.0	453,818	
財産収入	172,895	0.5	-	-					
寄附金	63,185	0.2	-	-					
繰入金	2,422,070	6.5	-	-					
繰越金	1,396,877	3.7	-	-					
諸収入	821,500	2.2	5,159	0.0					
地方債	3,941,700	10.5	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	1,121,000	3.0	-	-					
歳入合計	37,464,167	100.0	18,560,396	100.0					

区分		平成28年度		平成27年度	
徴収率	現・計	98.6	92.4	98.6	92.4
(%)	年	98.9	95.6	99.1	95.8
		98.1	88.5	97.9	88.0

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	3,614,352	実質収支	3,350
下水道	1,066,000	再差引収支	-92,150
上水道	74,383	加入世帯数(世帯)	10,063
工業用水道	19,493	被保険者数(人)	16,742
病院	2,453	被保険者	93
国民健康保険	484,781	1人当り	110
その他	1,967,242	保険税(料)収入額	340
		国庫支出金	110
		保険給付費	340

歳出の状況(単位:千円・%)					
目的別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	256,882	0.7	-	256,881	
総務費	5,584,642	15.5	687,966	4,103,896	
民生費	11,197,424	31.1	75,480	5,348,270	
衛生費	2,104,573	5.9	166,407	1,957,596	
労働費	195,215	0.5	223	71,064	
農林水産業費	1,536,720	4.3	314,203	940,414	
商工費	1,688,268	4.7	435,366	884,155	
土木費	3,713,192	10.3	1,841,357	1,847,575	
消防費	1,234,836	3.4	-	1,234,836	
教育費	4,359,092	12.1	1,892,391	2,461,679	
災害復旧費	783	0.0	-	141	
公債費	4,086,835	11.4	-	4,014,333	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	35,958,462	100.0	5,413,393	23,120,840	

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	14,890,964	41.4	9,657,645	9,441,651	48.0
人件費	4,648,720	12.9	4,074,267	3,926,185	19.9
うち職員給	3,044,635	8.5	2,512,986	-	-
扶助費	6,155,409	17.1	1,569,045	1,503,008	7.6
公債費	4,086,835	11.4	4,014,333	4,012,458	20.4
元利償還金	4,086,835	11.4	4,014,333	4,012,458	20.4
内訳					
うち元金	3,711,271	10.3	3,645,181	3,643,306	18.5
うち利子	375,564	1.0	369,152	369,152	1.9
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	15,653,322	43.5	12,677,500	8,240,650	41.9
物件費	4,557,706	12.7	3,645,399	2,521,177	12.8
維持補修費	261,023	0.7	215,297	83,562	0.4
補助費等	5,632,503	15.7	4,592,318	3,286,897	16.7
うち一部事務組合負担金	2,569,733	7.1	2,557,506	2,544,649	12.9
繰出金	3,518,023	9.8	3,116,750	2,339,265	11.9
積立金	1,169,398	3.3	1,075,467	-	-
投資・出資金・貸付金	514,669	1.4	32,269	9,749	0.0
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	5,414,176	15.1	785,695	-	-
うち人件費	126,718	0.4	124,618	-	-
普通建設事業費	5,413,393	15.1	785,554	-	-
うち補助	3,277,327	9.1	238,023	-	-
うち単独	2,090,586	5.8	540,055	-	-
災害復旧事業費	783	0.0	141	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	35,958,462	100.0	23,120,840	-	-

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成28年度 福井県越前市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

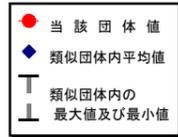
会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	37,464	35,958	1,506	1,367	-	42,895	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298</							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成28年度

福井県越前市

人口	82,947	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	79,803	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	230.70	km ²	実質公債費比率	10.4	%
歳入総額	37,464,167	千円	将来負担比率	90.7	%
歳出総額	35,958,462	千円	市町村類型	H24 II-2 H25 II-2 H26 II-2	
実質収支	1,367,428	千円	(年度毎)	H27 II-2 H28 II-2	
標準財政規模	19,914,386	千円			
地方債現在高	42,894,912	千円			

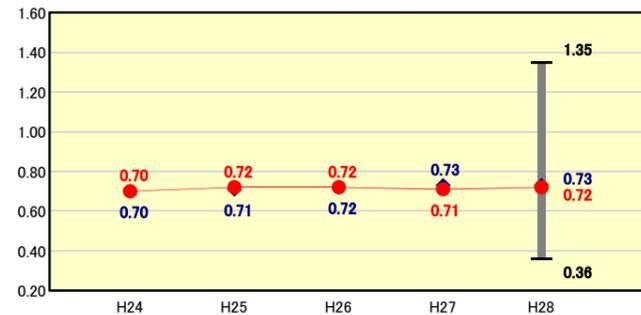


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

財政力

財政力指数 [0.72]

類似団体内順位 43/93 全国平均 0.50 福井県平均 0.59

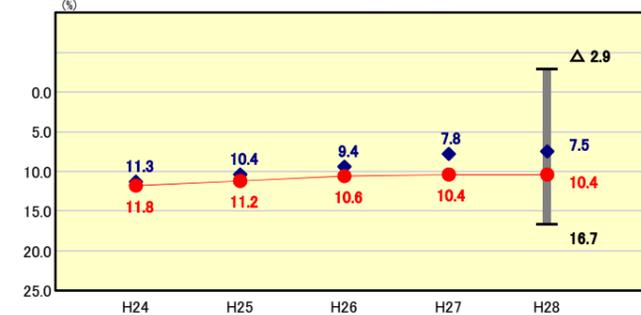


財政力指数の分析欄
 平成23年度以降は0.71前後の水準で推移しており、平成28年度は前年度より0.01ポイント上がって0.72となった。全国平均、福井県平均を上回っている。
 今後も市税等の特別徴収本部の設置、コンビニ収納、インターネット公売の推進、滞納整理の強化等により収税の確保に努める。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [10.4%]

類似団体内順位 72/93 全国平均 6.9 福井県平均 9.4

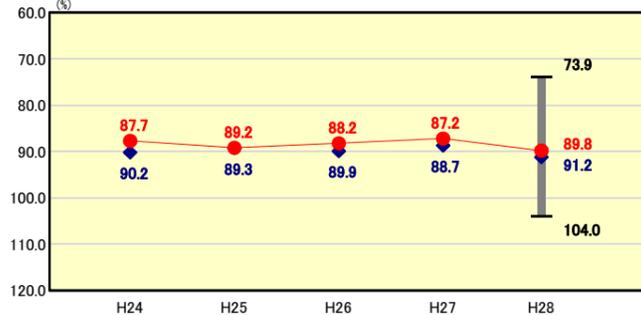


実質公債費比率の分析欄
 平成28年度の実質公債費率は、元利償還金額や公営企業への繰出金が増加しているが、前年度比同率の10.4%となっている。公債費は増加傾向にあるため、10年経過後の利率見直し等を行い償還額の抑制に努めている。
 今後も、下水道特別会計への起債償還に伴う繰出金の増加等も見込まれることから、公営企業の経営健全化を図り、市債発行額の抑制に努める。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [89.8%]

類似団体内順位 30/93 全国平均 92.5 福井県平均 92.7

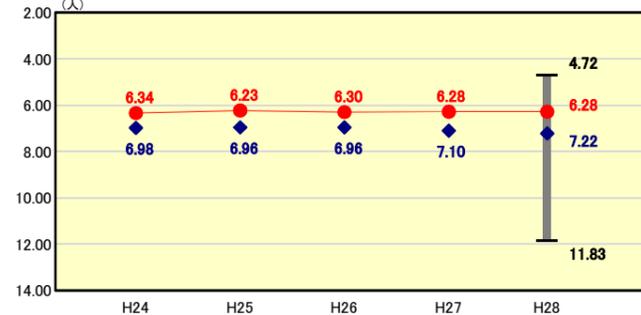


経常収支比率の分析欄
 経常一般財源等は、普通交付税の減(▲888,551千円)、また地方税においては法人税率の引き下げや外国為替の影響による収益減により法人市民税の減(▲444,357千円)等により、総額で1,599,613千円の減となった。
 一方、経常経費充当一般財源等は、対前年度▲1,318,988千円(▲6.9%)となったものの、経常収支比率89.8%(対前年度+2.6ポイント)と上昇した。
 しかし今後は、歳入では地方税の法人市民税は回復傾向にあるものの、合併算定替えによる交付税の減が見込まれ、歳出では扶助費や公債費の増による経常収支比率の上昇が懸念される。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [6.28人]

類似団体内順位 28/93 全国平均 7.90 福井県平均 8.41

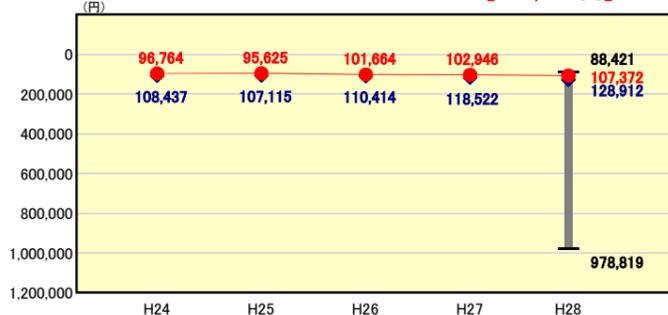


人口千人当たり職員数の分析欄
 職員数の削減については、行財政構造改革プログラムに基づき、民間活用や早期退職制度の実施など行政改革を積極的に進めているが、団塊の世代の退職者が増えており、職員数削減の目標年度よりも早期に達成している。
 人口千人当たり職員数は、23年度より全国平均、福井県平均及び類似団体平均を下回っており、今後も、大量退職者の補充採用を一定数に抑制しつつ適正な定員管理と組織体制のあり方を検討していく。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [107,372円]

類似団体内順位 23/93 全国平均 123,135 福井県平均 134,599

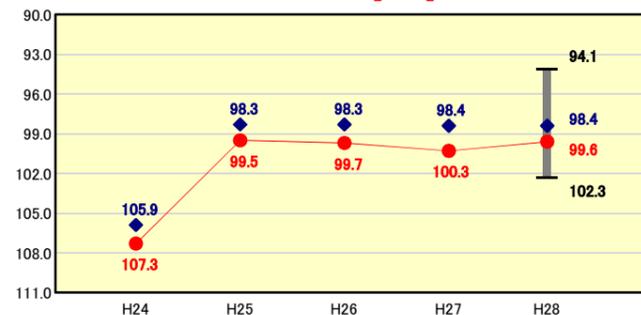


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 職員数減による職員給の減少、また退職者の減により退職金が減となり人件費は減となった。また、物件費において委託業務量の増などにより決算額は増となった。決算額は全国平均、県平均、類似団体平均を下回っている。

給与水準 (国との比較)

ラスパイレース指数 [99.6]

類似団体内順位 65/93 全国市平均 99.1 全国町村平均 96.4



ラスパイレース指数の分析欄
 前年度に比べ昨年度は0.7ポイント減の99.6となった。依然、全国市平均および類似団体平均も上回っており、今後も引き続き縮減に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

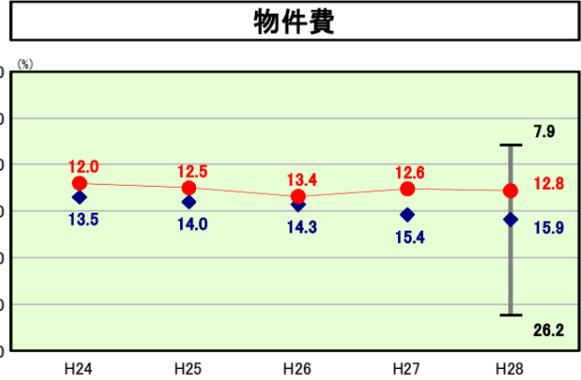
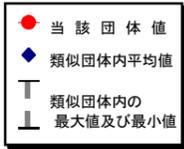
平成28年度

福井県越前市

経常収支比率の分析

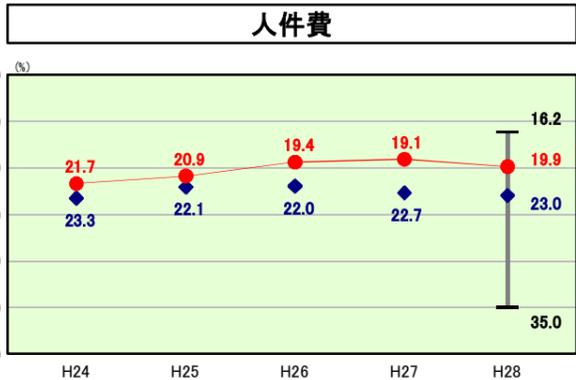
人口	82,947	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	79,803	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	230.70	km ²	実質公債費比率	10.4	%
歳入総額	37,464,167	千円	将来負担比率	90.7	%
歳出総額	35,958,462	千円			
実質収支	1,367,428	千円	市町村類型	H24 II-2 H25 II-2 H26 II-2	
標準財政規模	19,914,386	千円	(年度毎)	H27 II-2 H28 II-2	
地方債現在高	42,894,912	千円			

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



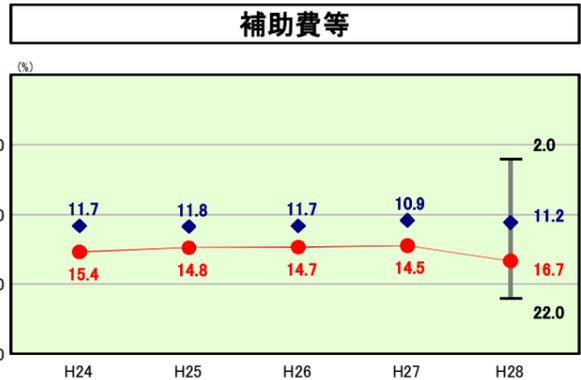
物件費の分析欄

施設管理業務委託の増により、物件費の経常経費は前年度比0.2ポイント増の12.8%となったものの、類似団体平均、福井県平均全国平均ともに下回っている。
 今後も行財政構造改革プログラムに基づく事務事業の見直しや効率化、維持管理費等の経常的支出の削減に努める。



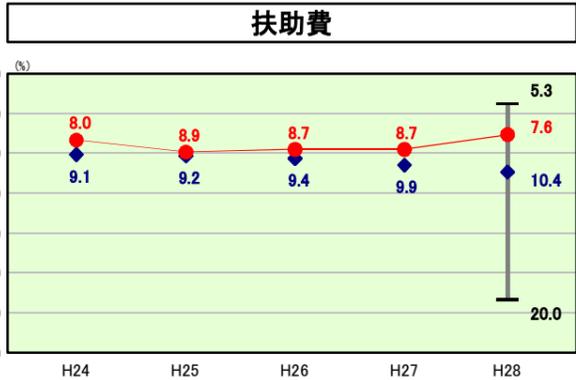
人件費の分析欄

例年、類似団体平均、全国平均、福井県平均を下回る結果となるが、これは、ごみ処理業務や消防業務を一部事務組合で行っていることが主な要因である。
 前年度との比較においては、定年退職者減による退職金の減等により人件費は3億円減少しているが、経常一般財源も減少したことにより、人件費の経常収支比率は0.8ポイント減少した。
 団塊世代職員の定年退職者数は、しばらく徐々に減少していくと見込まれるため、補充採用を一定数に抑制しつつ適正な定員管理と組織体制のあり方を検討していく。



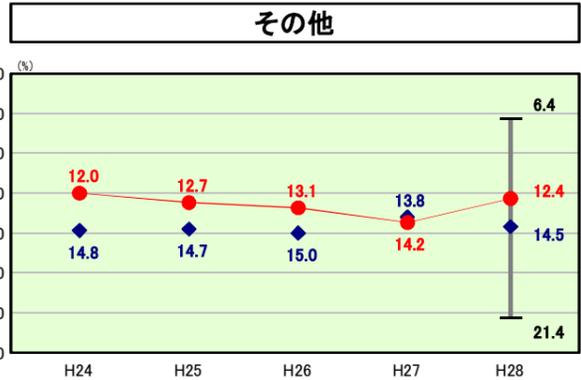
補助費等の分析欄

子ども園・保育園の運営負担金の増や、総合戦略に基づく定住化の促進にかかる補助費の額の増加等により、経常支出比率は2.2ポイント増加し16.7%となった。
 今後も長期的視点に立った施策を推進することにより歳出の抑制に努める。



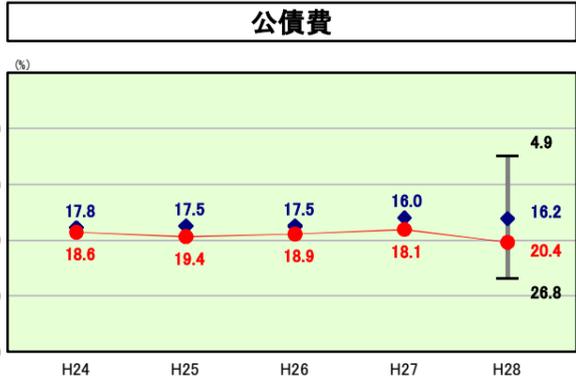
扶助費の分析欄

類似団体平均、全国平均、福井県平均を下回っている。民間保育園への運営委託料の減や臨時福祉給付金の支給件数の減などにより、前年度に比べ1.1ポイント減の7.6%となった。
 平成28年度は減少しているが、国の制度改正を注視しながら、市制度の見直し、統合等により、扶助費全体の抑制に努める。



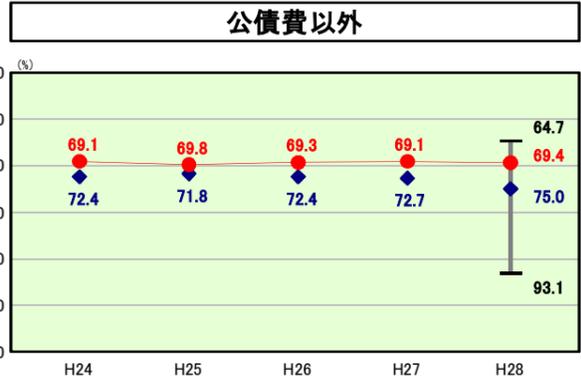
その他の分析欄

国民健康保険事業や土地開発基金事業への繰出金の減により歳出額は減少し、経常収支比率は前年度より1.8ポイント減少し12.4%となった。
 今後も増加が懸念されるが、健康づくりなど長期的視点に立った施策を推進することにより歳出の抑制に努める。



公債費の分析欄

普通債発行額の抑制や、後年度に交付税措置がある合併特例債の活用、借入から10年経過した起債の金利見直しを行っており、28年度は前年度に比べ2.3ポイント増の20.4%となったが、類似団体平均値、全国平均、福井県平均いずれもを上回っている。
 今後も、工事等発注時における合併入札の推進により工事費の削減を図り、普通再発行額の抑制に努める。



公債費以外の分析欄

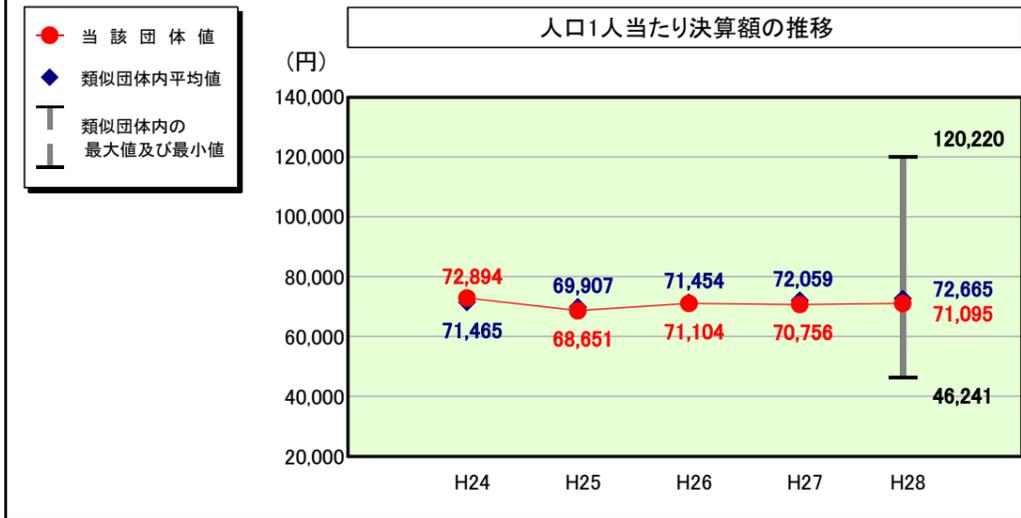
公債費以外の経常経費の状況は、類似団体平均、全国平均、福井県平均いずれも下回っている。
 今後も行財政構造改革プログラムに基づく事務事業の見直しや効率化、経常的支出の削減に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

福井県越前市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

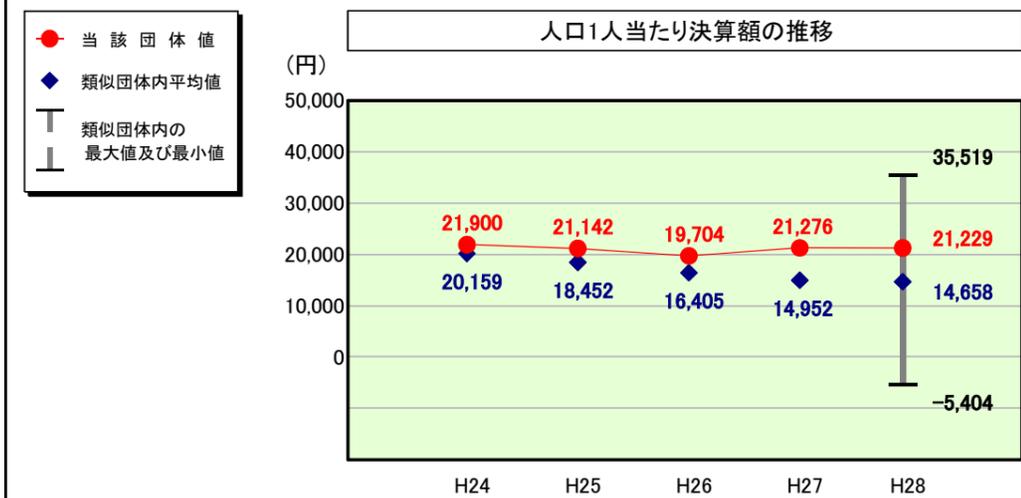
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	4,648,720	56,044	62,051	▲ 9.7
賃金 (物件費)	577,913	6,967	5,713	▲ 21.9
一部事務組合負担金 (補助費等)	1,033,276	12,457	5,796	▲ 114.9
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	98	1	1,167	▲ 99.9
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	198,320	2,391	2,337	▲ 2.3
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	126,718	1,528	1,594	▲ 4.1
▲退職金	▲ 687,949	▲ 8,294	▲ 5,993	▲ 38.4
合計	5,897,096	71,095	72,665	▲ 2.2

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	6.28	7.22	▲ 0.94
ラスパイレス指数	99.6	98.4	▲ 1.2

(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

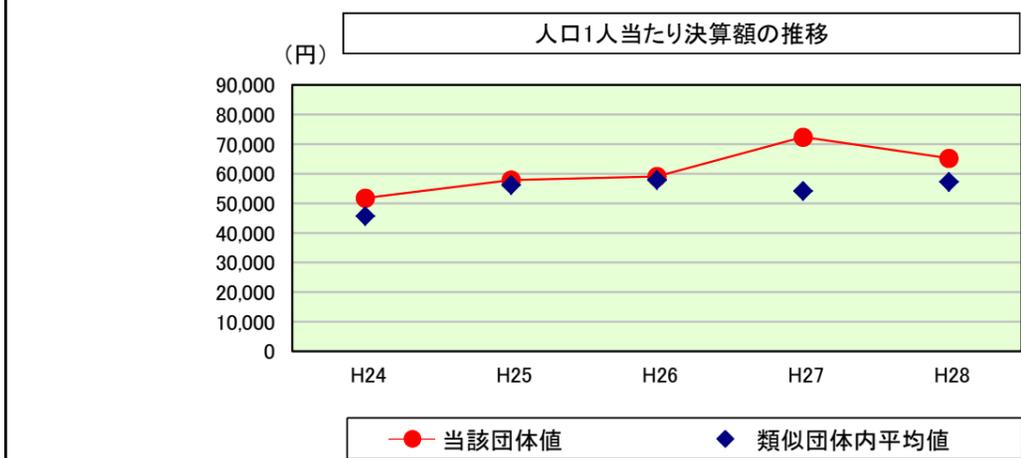


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	4,084,960	49,248	39,687	▲ 24.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	56	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	909,756	10,968	13,696	▲ 19.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	348,519	4,202	1,733	▲ 142.5
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	346,721	4,180	790	▲ 429.1
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲ 615,767	▲ 7,424	▲ 5,521	▲ 34.5
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 3,313,273	▲ 39,944	▲ 35,785	▲ 11.6
合計	1,760,916	21,229	14,658	▲ 44.8

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H24	4,377,133	51,771	▲ 22.2	45,761	▲ 4.9	▲ 17.3
うち単独分	1,990,285	23,540	6.7	24,777	9.4	▲ 2.7
H25	4,860,870	57,899	11.8	56,255	22.9	▲ 11.1
うち単独分	1,805,125	21,501	▲ 8.7	26,957	8.8	▲ 17.5
H26	4,950,905	59,103	2.1	57,944	3.0	▲ 0.9
うち単独分	1,790,769	21,378	▲ 0.6	29,326	8.8	▲ 9.4
H27	6,061,782	72,392	22.5	54,227	▲ 6.4	▲ 28.9
うち単独分	2,873,751	34,320	60.5	29,694	1.3	▲ 59.2
H28	5,413,393	65,263	▲ 9.8	57,295	5.7	▲ 15.5
うち単独分	2,090,586	25,204	▲ 26.6	32,771	10.4	▲ 37.0
過去5年間平均	5,132,817	61,286	0.9	54,296	4.1	▲ 3.2
うち単独分	2,110,103	25,189	6.3	28,705	7.7	▲ 1.4

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

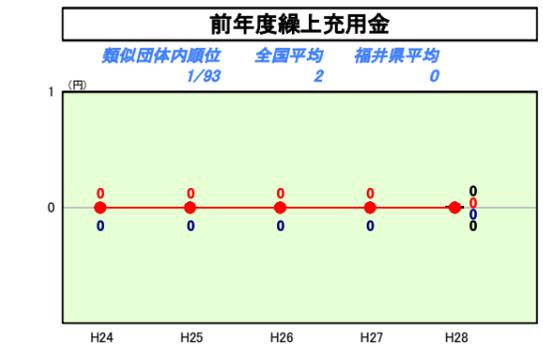
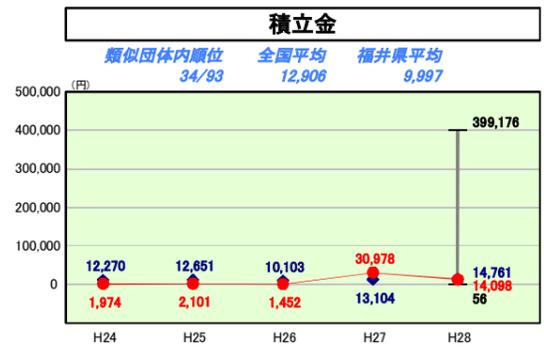
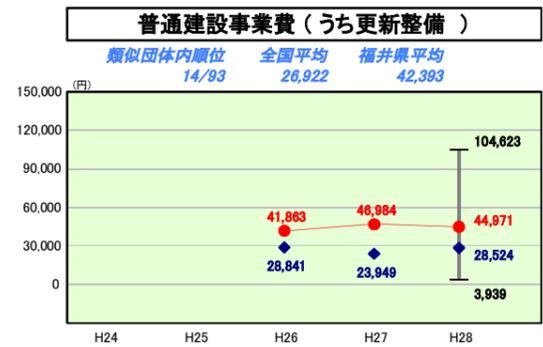
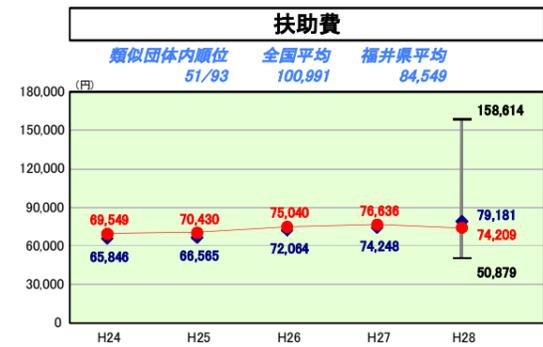
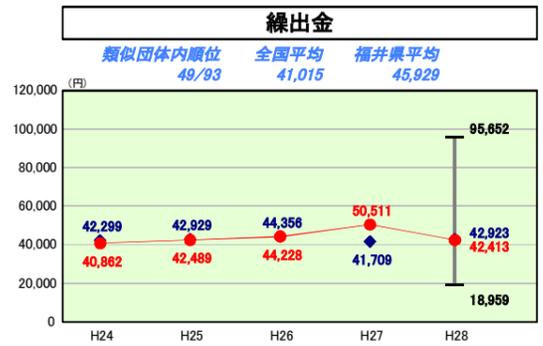
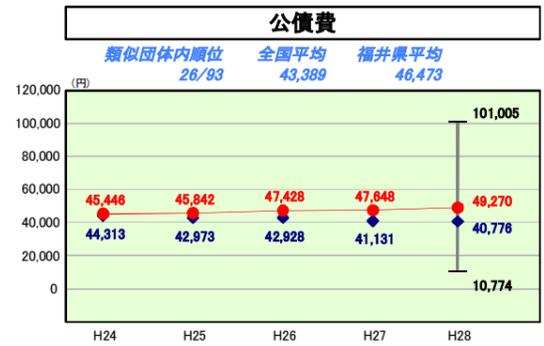
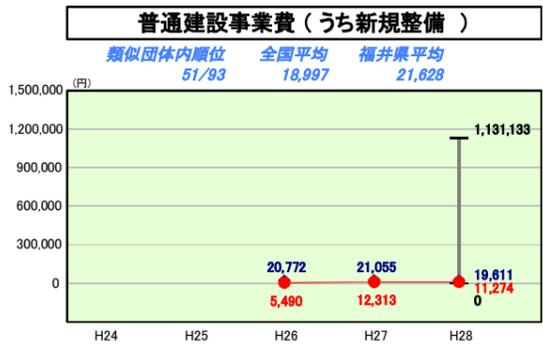
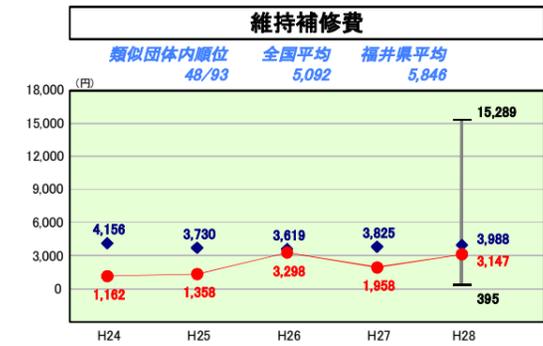
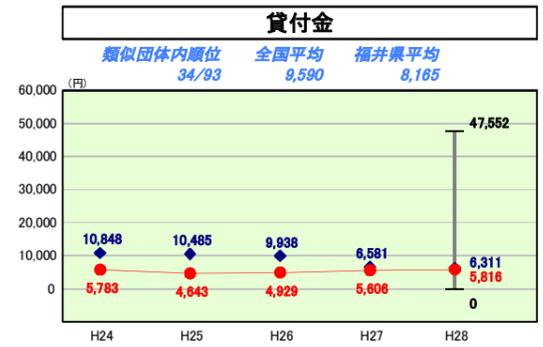
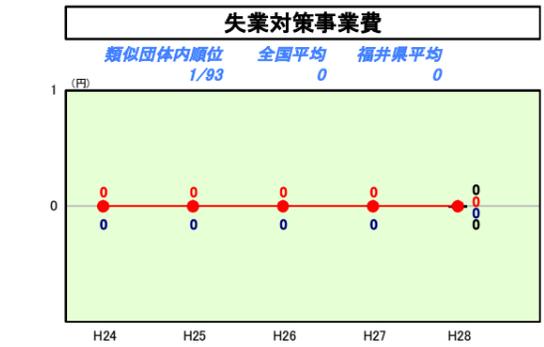
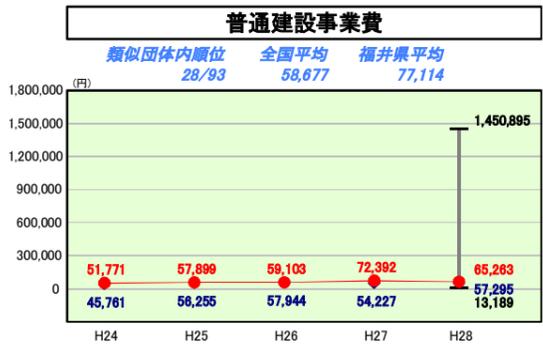
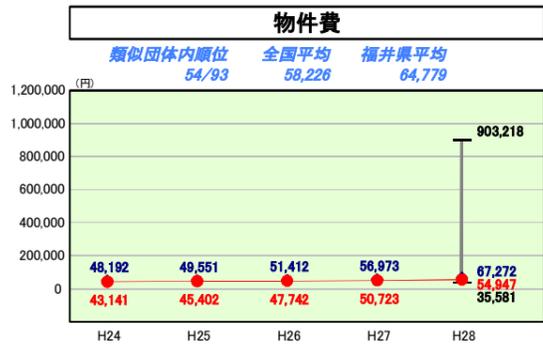
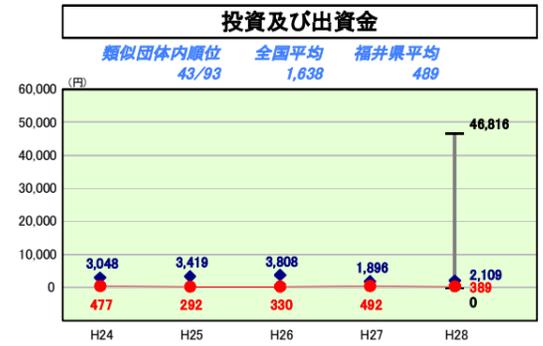
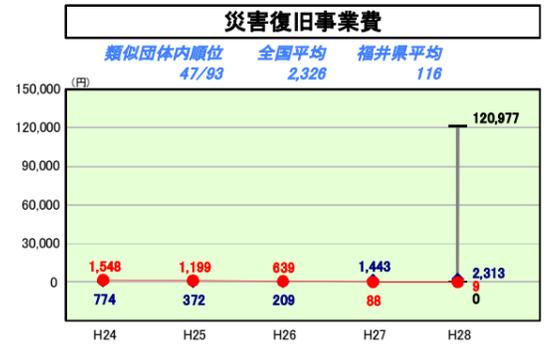
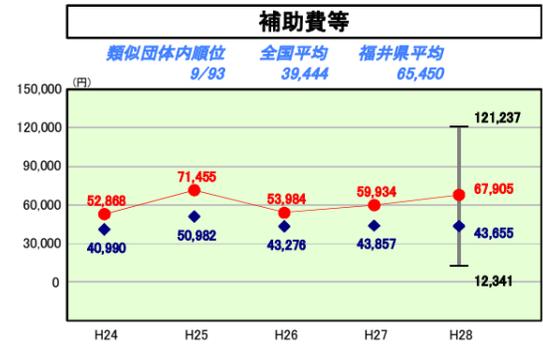
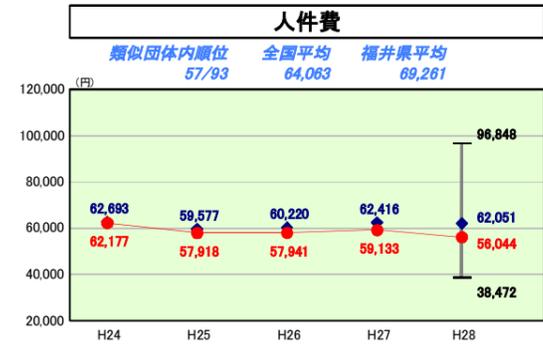
平成28年度

福井県越前市

人口	82,947	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%	
うち日本人	79,803	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%	
面積	230.70	km ²	実質公債費比率	10.4	%	
歳入総額	37,464,167	千円	将来負担比率	90.7	%	
歳出総額	35,958,462	千円	市町村類型	H24 II-2	H25 II-2	H26 II-2
実質収支	1,367,428	千円	(年度毎)	H27 II-2	H28 II-2	
標準財政規模	19,914,386	千円				
地方債現在高	42,894,912	千円				



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄
 平成28年度の性質別歳出決算(住民一人当たりのコスト)については、「半世紀に一度のまちづくり」の重要プロジェクトに係る業務量の増により、普通建設事業などが高い値を示している。また、公債費、補助費、物件費、維持補修費の費目で増加している。また、職員減による人件費の減をはじめ、扶助費、積立金の費目は減額となった。なお、これらの重要プロジェクトに備えるため、新たな基金の創設や積立(繰出)を行ない、将来負担の軽減に努めている。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成28年度

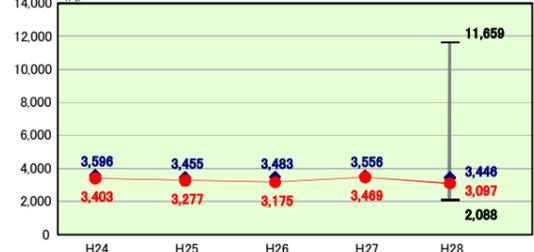
福井県越前市

人口	82,947	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	79,803	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	230.70	km ²	実質公債負担比率	10.4	%
歳入総額	37,464,167	千円	将来負担比率	90.7	%
歳出総額	35,958,462	千円	市町村類型	H24 II-2 H25 II-2 H26 II-2	
実質収支	1,367,428	千円	(年度毎)	H27 II-2 H28 II-2	
標準財政規模	19,914,386	千円			
地方債現在高	42,894,912	千円			

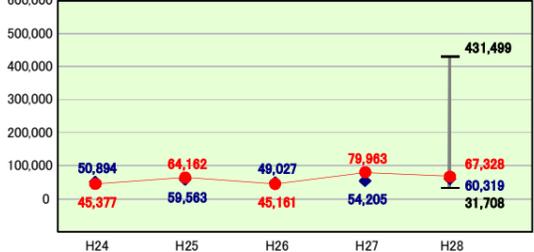


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

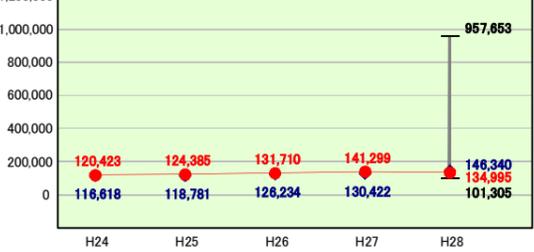
議会費
 類似団体内順位 62/93 全国平均 2,704 福井県平均 4,023



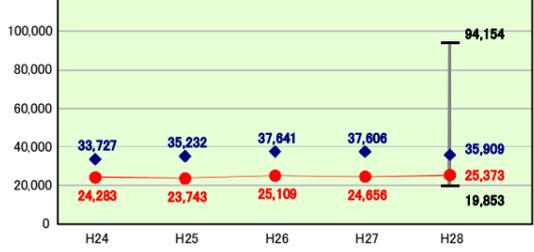
総務費
 類似団体内順位 28/93 全国平均 51,482 福井県平均 65,075



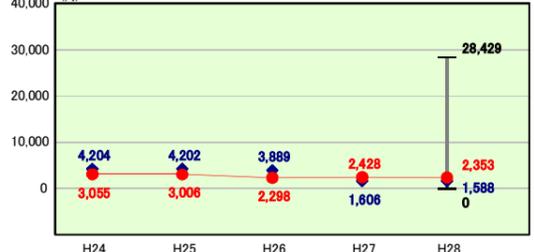
民生費
 類似団体内順位 43/93 全国平均 163,808 福井県平均 149,125



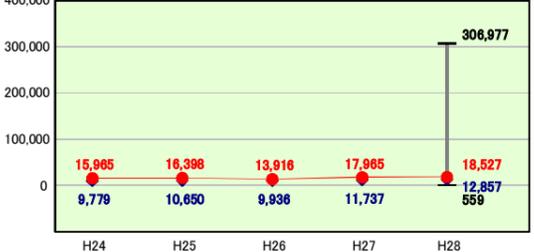
衛生費
 類似団体内順位 78/93 全国平均 35,835 福井県平均 32,372



労働費
 類似団体内順位 12/93 全国平均 838 福井県平均 2,567



農林水産業費
 類似団体内順位 18/93 全国平均 10,614 福井県平均 32,012



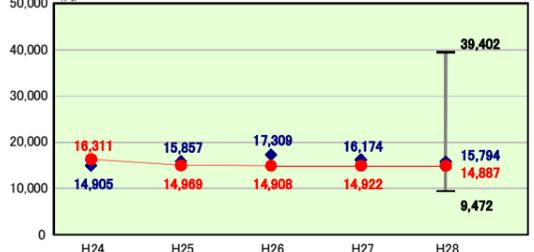
商工費
 類似団体内順位 18/93 全国平均 13,786 福井県平均 19,988



土木費
 類似団体内順位 39/93 全国平均 51,842 福井県平均 52,719



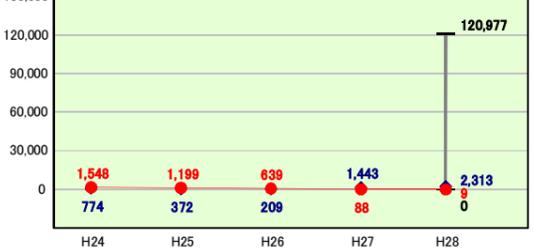
消防費
 類似団体内順位 43/93 全国平均 14,428 福井県平均 19,577



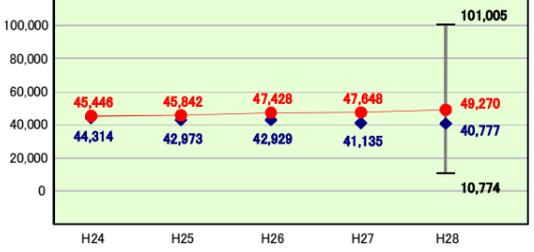
教育費
 類似団体内順位 20/93 全国平均 45,262 福井県平均 54,116



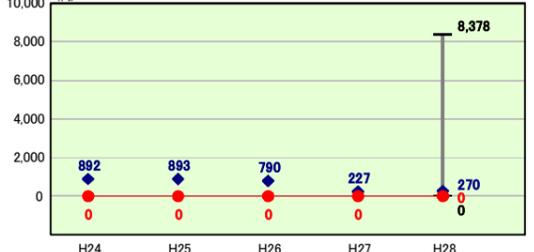
災害復旧費
 類似団体内順位 47/93 全国平均 2,327 福井県平均 116



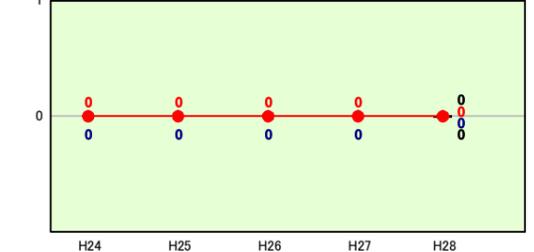
公債費
 類似団体内順位 26/93 全国平均 43,435 福井県平均 46,474



諸支出金
 類似団体内順位 8/93 全国平均 999 福井県平均 4



前年度繰上充用金
 類似団体内順位 1/93 全国平均 2 福井県平均 0



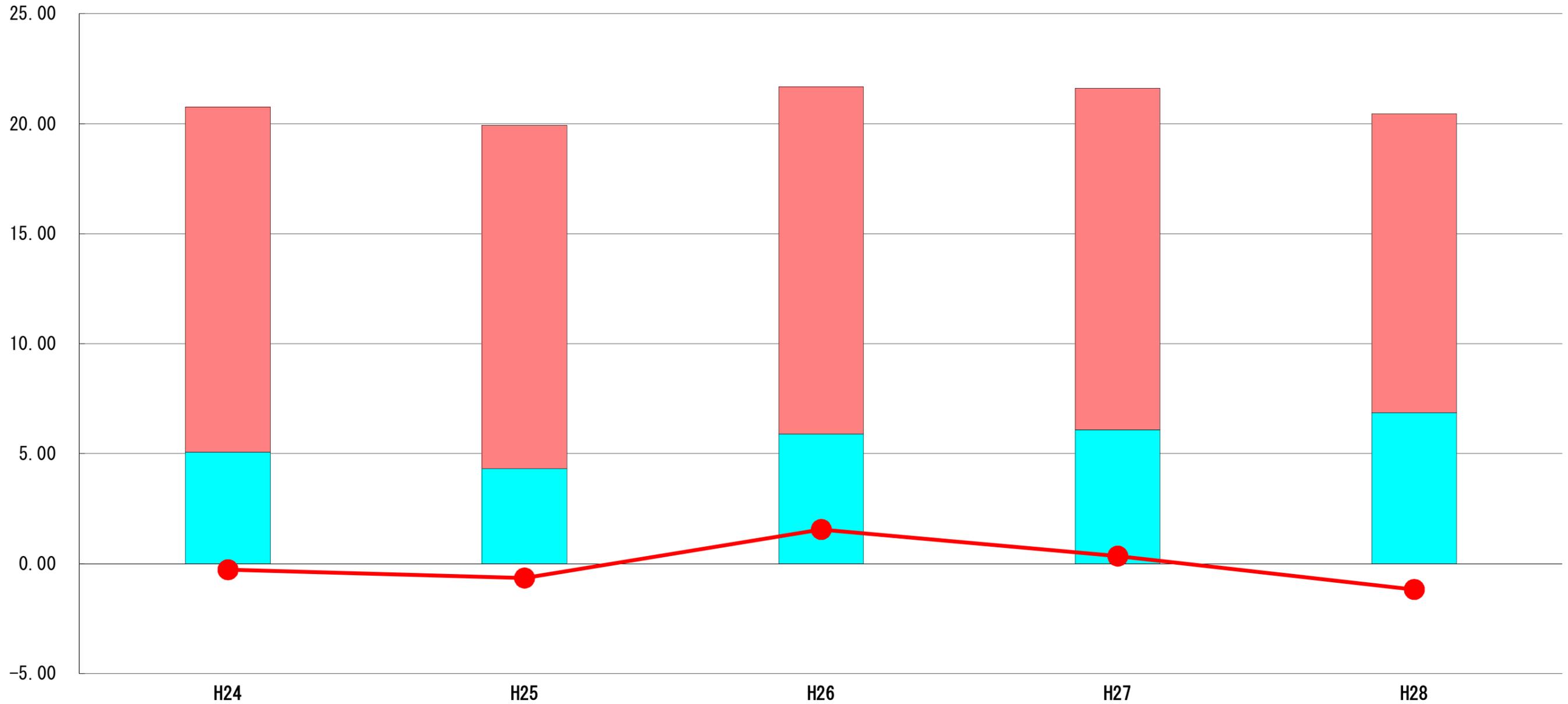
目的別歳出の分析欄
 平成28年度の目的別歳出決算分析(住民一人当たりのコスト)では、議会費については、議員報酬の減などによる減額、総務費については、基金の積み立てや人件費などの減額である。民生費については、国民健康保険事業の赤字補てん分の減などによる減額であり、衛生費については、浄化槽設置整備補助金の増などによる増額である。労働費については、勤労青少年ホームの施設改修費用の減などによる減額であり、農林水産費については、園芸振興対策事業補助金の増や環境調和型農業推進補助金の増などによる増加であり、商工費については、工芸の里構想推進事業の紙の文化博物館改修工事の増などによる増加である。土木費については、補助道路整備事業や補助公園整備事業の工事費の増などによる増加である。教育費については、小学校の耐震化事業終了に伴う減である。また公債費については、市債の増額によるものである。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)

平成28年度

福井県越前市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H24	H25	H26	H27	H28
 財政調整基金残高		15.68	15.60	15.77	15.53	13.59
 実質収支額		5.07	4.33	5.90	6.08	6.87
 実質単年度収支		▲ 0.28	▲ 0.66	1.55	0.34	▲ 1.17

分析欄

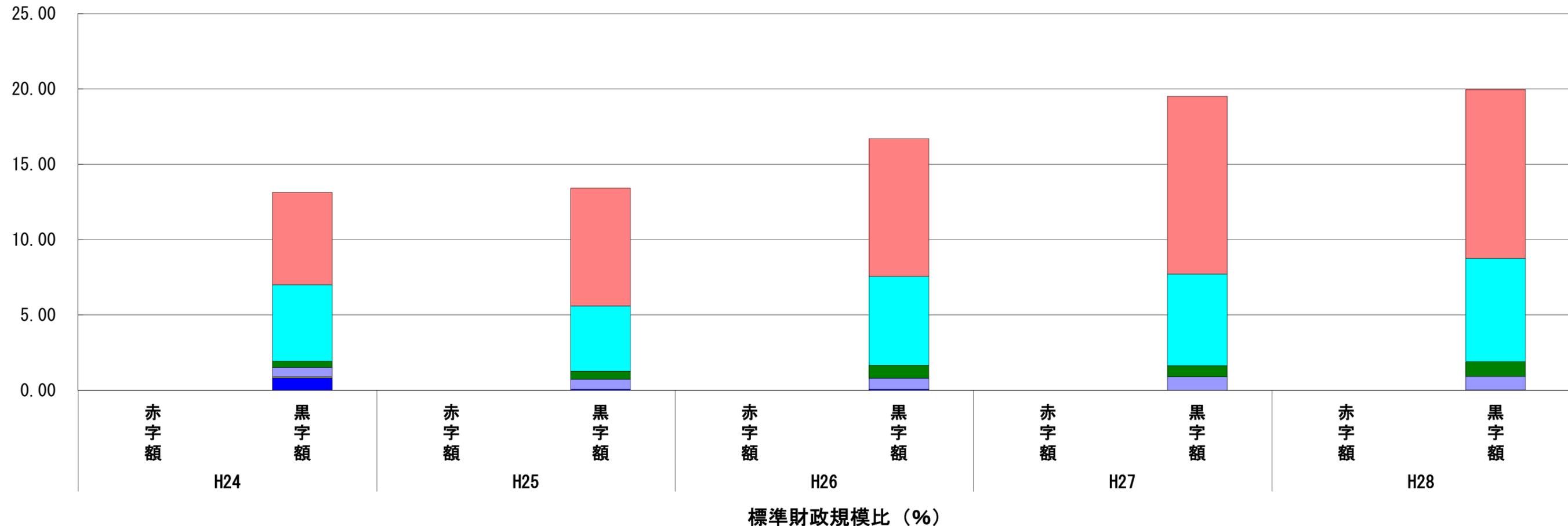
28年度は昨年度に比べ国庫支出金、寄附金、財産収入などは増となったが、地方税、地方交付税、県支出金などは減となり、総額では減(5.4%)となった。
 歳出では、公債費、物件費、維持補修費などは増となったが、人件費や扶助費、普通建設事業、補助費等、積立金等は減となり、総額は減(5.8%)となり、単年度収支では黒字となった。
 財政調整基金は28年度に結果3億623万円を取崩し27億557万円となった。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成28年度

福井県越前市

標準財政規模比（％）



会計	年度	H24	H25	H26	H27	H28
水道事業		6.13	7.81	9.16	11.79	11.18
一般会計		5.07	4.33	5.90	6.08	6.86
介護保険		0.41	0.53	0.85	0.75	0.97
工業用水道事業		0.64	0.67	0.72	0.88	0.91
後期高齢者医療		0.00	0.00	0.00	0.00	0.01
国民健康保険		0.06	0.00	0.01	0.00	0.01
下水道事業		0.00	0.00	0.00	0.01	0.00
農業集落排水事業		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.83	0.06	0.07	0.00	0.00

分析欄

一般会計等の実質赤字及び公営企業を含む特別会計の資金不足はいずれも生じておらず、すべての会計を合計した連結実質収支は39.8億円(-19.98%)の黒字となった。よって、連結実質赤字比率は「該当なし」となる。国が定める財政健全化計画を作成しなければならないとする連結実質赤字比率の早期健全化基準は17.50%である。

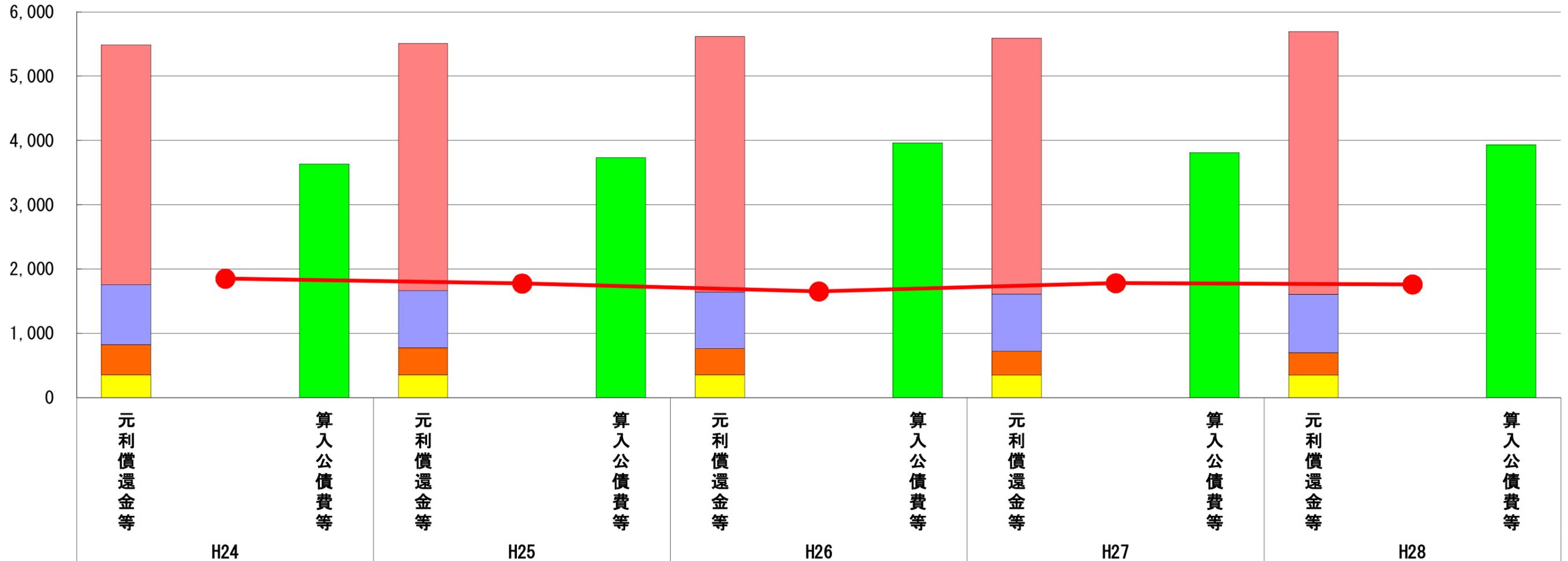
※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

福井県越前市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
元利償還金等 (A)	元利償還金		3,733	3,845	3,973	3,983	4,085
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		929	887	880	890	910
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		470	423	409	371	349
	債務負担行為に基づく支出額		354	353	352	347	347
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		3,635	3,732	3,964	3,810	3,929
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,851	1,776	1,650	1,781	1,762

分析欄

平成28年度の実質公債費比率(3カ年平均)は10.4%となり、前年度比同率の10.4%となった。

元利償還金の額や繰入金が増加し、普通交付税額も減少したものの、一部事務組合への地方債の元利償還に対する負担金が減少したことが実質公債比率減少の要因と考えられる。

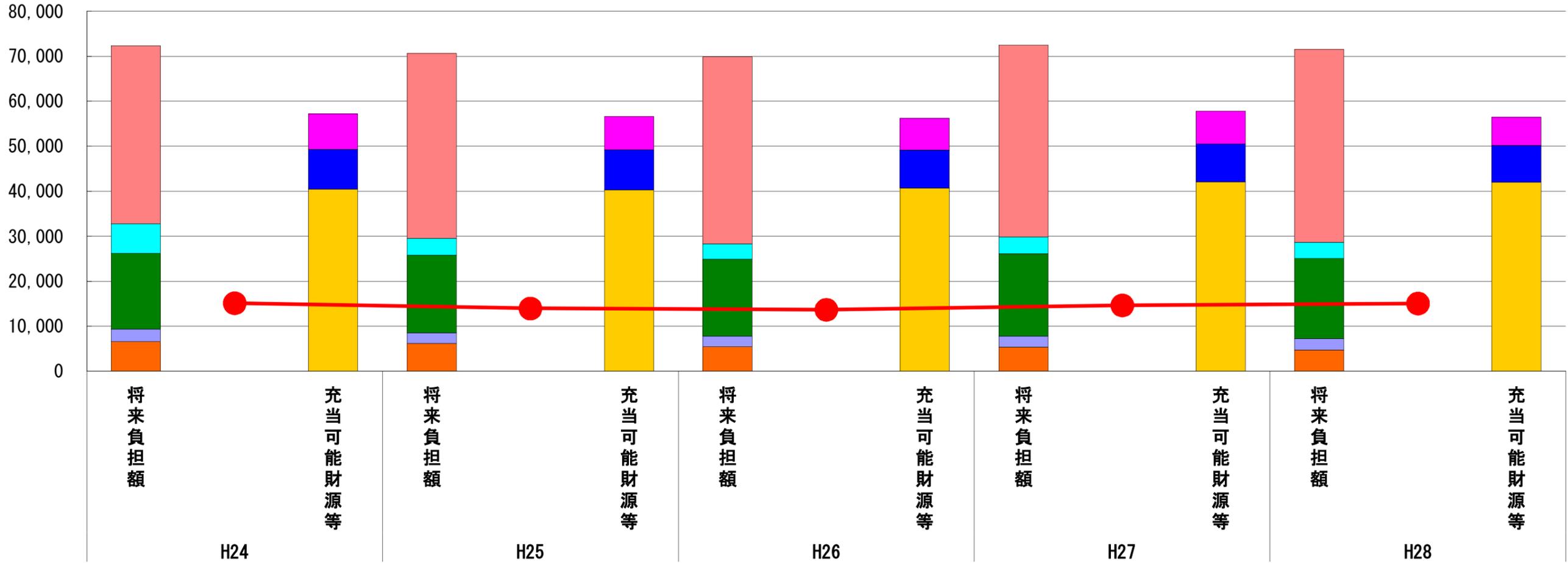
※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

福井県越前市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高		39,567	41,077	41,552	42,664	42,895
	債務負担行為に基づく支出予定額		6,510	3,715	3,433	3,670	3,537
	公営企業債等繰入見込額		16,914	17,270	17,055	18,336	17,884
	組合等負担等見込額		2,705	2,362	2,355	2,460	2,454
	退職手当負担見込額		6,616	6,186	5,489	5,357	4,766
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-	
充当可能財源等(B)	充当可能基金		7,827	7,399	7,070	7,299	6,264
	充当可能特定歳入		8,896	8,919	8,393	8,404	8,194
	基準財政需要額算入見込額		40,444	40,307	40,745	42,128	42,010
(A) - (B)	将来負担比率の分子		15,145	13,986	13,677	14,656	15,067

分析欄

平成28年度の将来負担比率について、地方債の現在高は増加したものの、債務負担行為支出予定額、公営企業債等繰入見込額が減少したことで将来負担額が減少したが、財政調整基金などの充当可能財源等も減った結果、将来負担比率は2.8ポイントの増の90.7%となった。

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

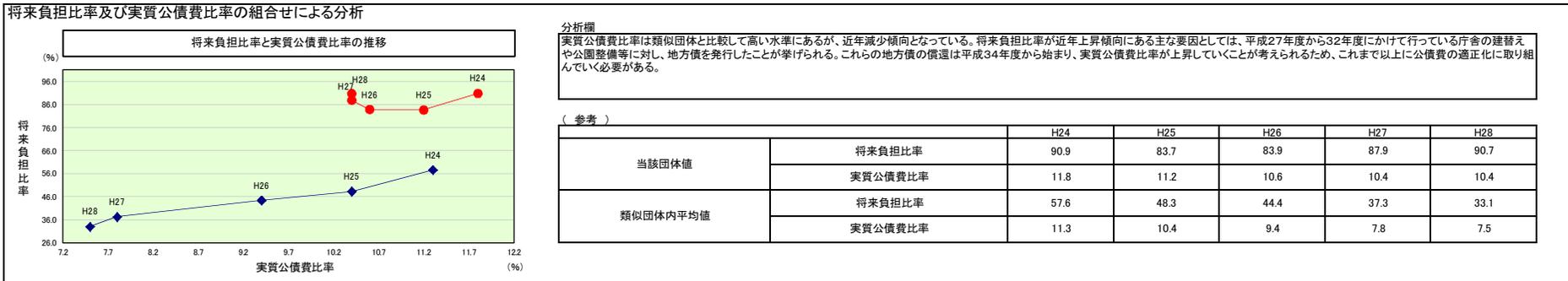
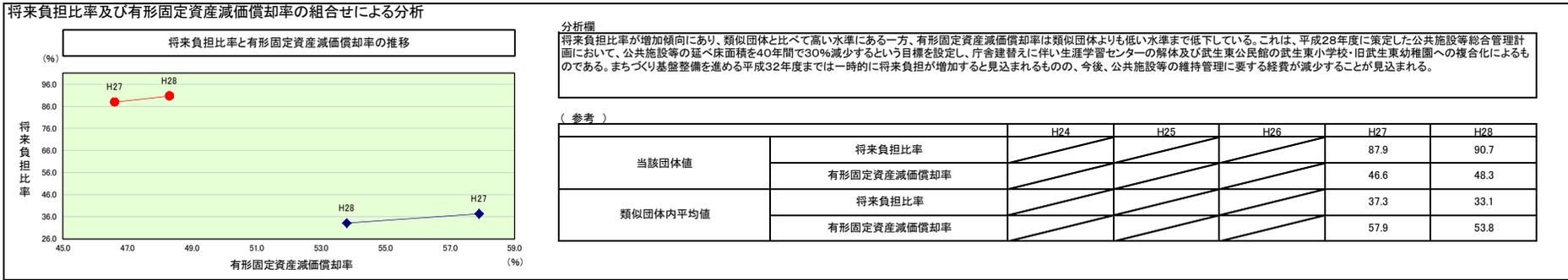
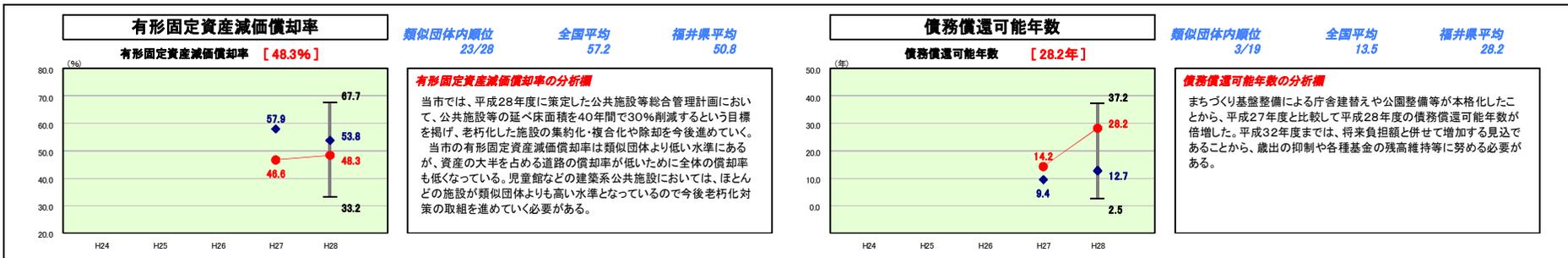
平成28年度

福井県越前市

人口	82,947	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	79,803	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	230.70	km ²	実質公債費比率	10.4	%
歳入総額	37,464,167	千円	将来負担比率	90.7	%
歳出総額	35,958,462	千円	市町村類型	H24 II-2 H25 II-2 H26 II-2	
実質収支	1,367,428	千円	(年度毎)	H27 II-2 H28 II-2	
標準財政規模	19,914,386	千円			
地方債現在高	42,894,912	千円			



※ 有形固定資産減価償却率は平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、債務償還可能年数は平成30年1月1日時点で統一な基準による財務書類を作成済みの団体について、数値を記載している。
 ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



(12)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

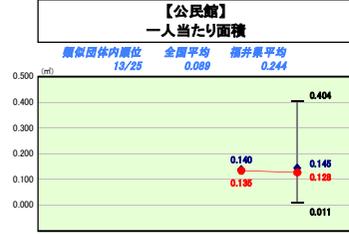
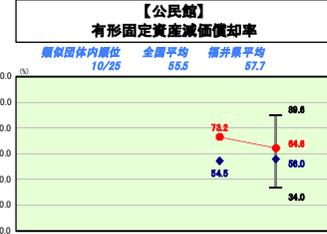
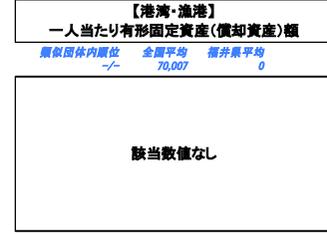
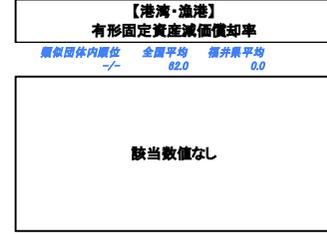
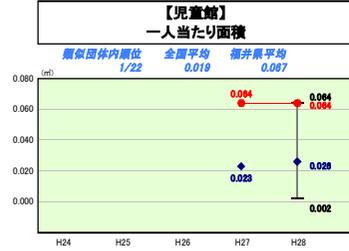
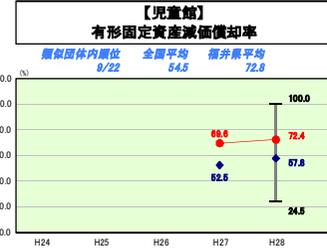
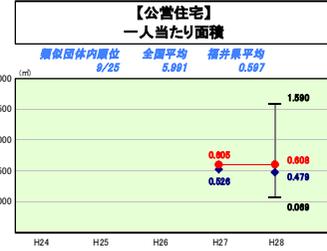
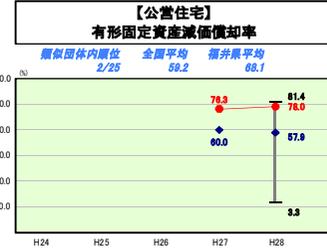
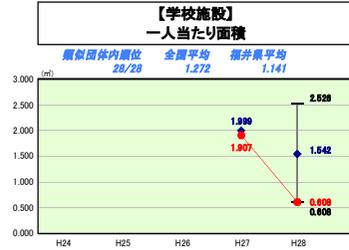
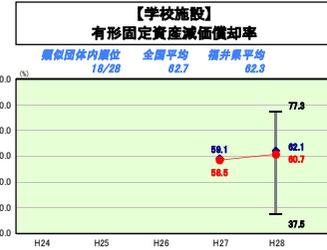
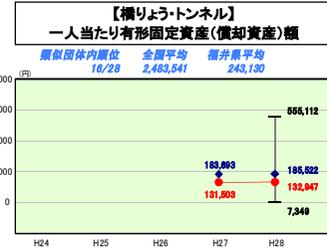
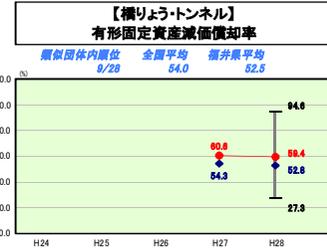
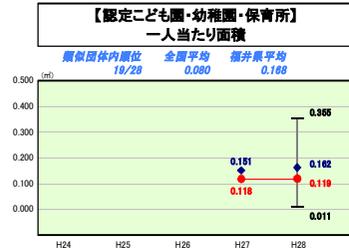
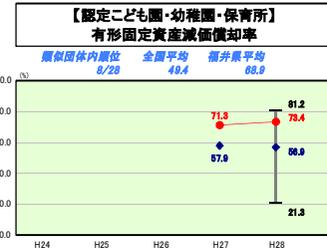
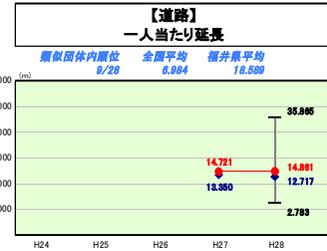
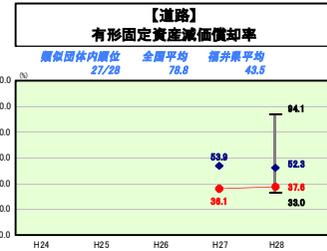
平成28年度

福井県越前市

人口	82,947	人口28.1(1)割合	実質赤字比率	-	%
うち日本人	79,803	人口28.1(1)割合	高齢実質赤字比率	-	%
面積	230.70	km ²	実質負債比率	10.4	%
歳入総額	37,464,167	千円	将来負担比率	90.7	%
歳出総額	35,958,462	千円	市町村間差	H24 II-2 H25 II-2 H26 II-2	
実質収支	1,505,705	千円	(年度毎)	H27 II-2 H28 II-2	
標準財政規模	19,914,386	千円			
地方債残高	42,594,912	千円			



※平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。
 ※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析

類似団体と比較して特に有形固定資産減価償却率が高くなっている施設は、庁舎、児童館、消防施設、体育館・プール、認定こども園・幼稚園・保育所であり、特に低くなっている施設は道路、図書館である。
 庁舎においては、平成28年度の有形固定資産減価償却率が75.6%と類似団体より非常に高い数字になっているが、現在新庁舎建設を進めているのであり、老朽化対策を既にしている。同じく高い水準となっている児童館、体育館・プール、認定こども園・幼稚園・保育所においては、今後個別施設計画を策定し、老朽化対策を進めていくこととしている。
 公民館の有形固定資産減価償却率が平成27年度から平成28年度にかけて大きく減少した理由は生涯学習センターの解体及び武生東公民館の武生東小学校・旧武生東幼稚園への複合化によるものである。今後も引き続き住民ニーズの把握に努め、複合化、集約化、減築、廃止等、あらゆる方法を比較検討しつつ、施設保有面積を減少させることにより、改修、改装、維持管理費用の縮減に努めていく。

(12)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

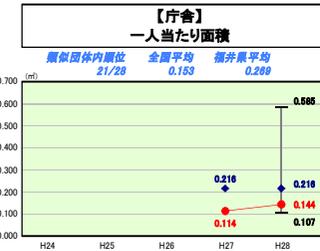
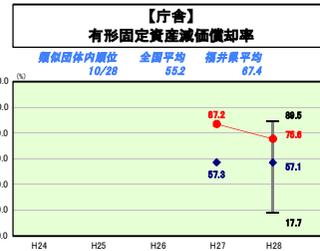
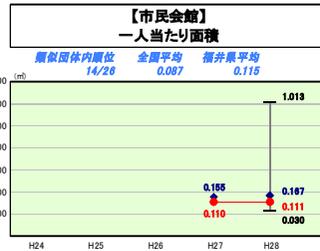
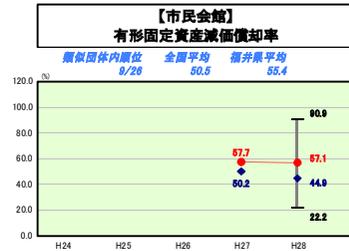
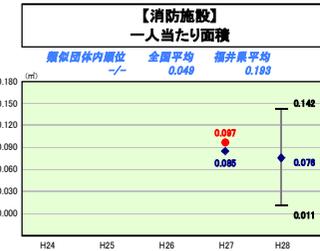
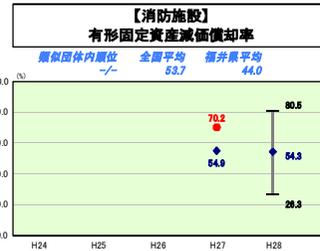
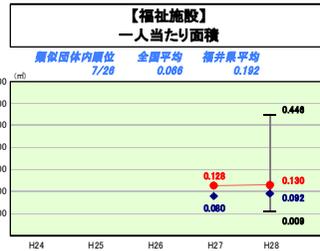
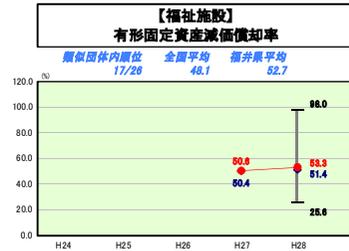
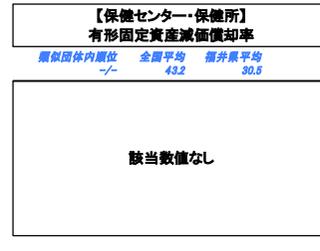
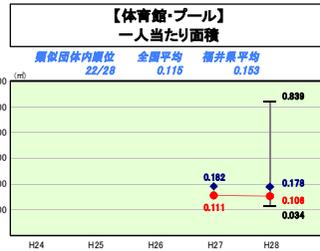
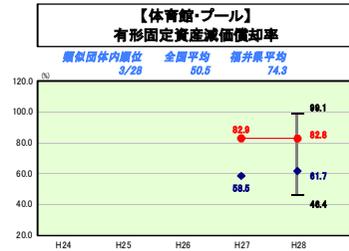
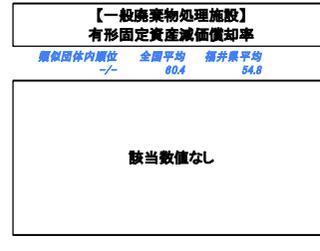
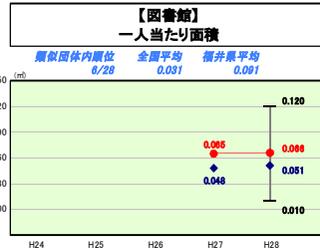
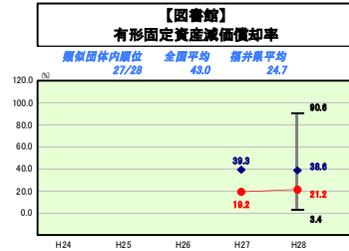
平成28年度

福井県越前市

人口	82,947	人(28.1.1現在)	実業率	1.1%	比率	-	%
うち日本人	79,803	人(28.1.1現在)	実業率	1.1%	比率	-	%
面積	230.70	km ²	実業率	10.4	比率	10.4	%
入総額	37,464,167	千円	将来負担	90.7	比率	90.7	%
出総額	35,958,462	千円	市町村別	H24	II-2	H25	II-2
実収支	1,507,428	千円	(年度毎)	H27	II-2	H28	II-2
標準財政規模	19,914,386	千円					
地方債残高	42,594,912	千円					



※平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。
 ※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析値

類似団体と比較して特に有形固定資産減価償却率が高くなっている施設は、庁舎・児童館・消防施設・体育館・プール、認定こども園・幼稚園・保育所であり、特に低くなっている施設は道路、図書館である。
 庁舎においては、平成28年度の有形固定資産減価償却率が75.6%と類似団体より非常に高い数字になっているが、現在新庁舎建設を進めている所であり、老朽化対策を既にしている。同じく高い水準となっている児童館、体育館・プール、認定こども園・幼稚園・保育所においては、今後個別施設計画を策定し、老朽化対策を進めていくこととしている。
 公民館の有形固定資産減価償却率が平成27年度から平成28年度にかけて大きく減少した理由は生涯学習センターの解体及び武生東公民館の武生東小学校・旧武生東幼稚園への複合化によるものである。今後も引き続き住民ニーズの把握に努め、複合化、集約化、減築、廃止等、あらゆる方法を比較検討しつつ、施設保有面積を減少させることにより、改修、改装、維持管理費用の縮減に努めていく。